

【肉用牛・一貫】(高知県南国市:田島牧場)

- 田島牧場は、父親の代には乳用種及び交雑種の肥育経営であったが、現在は和牛を中心とした一貫経営に転換。
- 土佐あかうし、黒毛和種及び交雑種を飼養しており、交雑種には黒毛和種の受精卵を受胎させ黒毛和種を生産するとともに交雑種の繁殖雌牛は一産取り肥育を実施。
- 令和3年度には高知県のICT事業を活用し、発情発見装置及び遠隔監視カメラを導入し、労力軽減及び分娩事故の抑制を図るとともに、令和4年度は国のスマート畜産業導入支援事業を活用して分娩監視装置も導入。
- 昭和55年から障害者を雇用しており、農福連携の取り組みに貢献。
- 令和3年7月に家畜人工授精所を開設し、他家の人工授精の受託も行っており、地域の肉用牛振興に貢献。

<農場概要>

所在地:高知県南国市

代表者:田島 誠

従事者:本人、従業員3名

一貫経営:飼養頭数

土佐あかうし	繁殖牛10頭	肥育牛24頭
黒毛和種	繁殖牛25頭	肥育牛65頭
交雑種	繁殖牛17頭	肥育牛30頭



牛舎に設置された
遠隔監視カメラ

<経営の特徴>

- ・繁殖雌牛は交雑種以外は概ね自家保留で確保し、肥育素牛も自家生産が主体。
- ・自給飼料は冬作のエン麦を約44a、稲WCSを60aから収穫。令和4年からはイタリアンライグラス等、約200aの栽培を開始。地域の耕種農家からも稲WCSを230トン購入。
- ・土佐あかうし、黒毛和種ともに28ヶ月齢で出荷し、一部は兄弟が経営する食肉販売店で「南国田島牛」として販売。
- ・肉用牛経営と稲作の複合経営。

遠隔監視カメラの映像
を携帯電話で確認

